

# 支部友会だより

No.104 Jan 1 2025



日本山岳会東海支部

発行 公益社団法人日本山岳会東海支部  
支部友会

〒460-0014 名古屋市中区富士見町 8-8  
OMC ビル

編集責任者 田中進

## 「明けましておめでとうございます」

今年も安全登山が出来ますよう、新しい山の仲間が増えますようお願いしています。皆さんはリングワンダリングって知っていますか？方向感覚を失い、いつの間にか同心円を描き同じ地点をさ迷うことです。ホワイトアウト、濃霧、暗夜に平地で起き易いと言われていています。疲労による遭難もあるようです。私は10代の後半に晩秋の八ヶ岳山麓で経験しました。夜行の小海線の駅から歩き始めて濃霧で先が見えなくなりました。

休憩して晴れるのを待ちましたが白い霧は増すばかりで仕方なく磁石を頼りに草原を歩き始めました。多分20～30分だったと思いますが先ほど休憩した大きな岩が突然目の前に現れました。一人だったのでゾッとして歩けなくなりました。

20代に海でも経験したのです。ヨットの指導の為モーターボートに乗っていたのですが濃霧と無風で練習を中止してハーバーへ帰ることになりました。勝手知る何時もの海ですからハーバーに向かっていると思い、ふと後ろの航跡を見たら曲がっているのです。

沖に向かっていました。怖くなりエンジンを止めました。これは海ですからリングワンダリングとは云わないかもしれませんが同じ現象でしょう。自分は真っ直ぐのつもりが真っ直ぐ歩けないのです。あれっ？これって私の人生と同じじゃないか。余計な脇道に入り多くの無駄な時間を過ごしそして元に戻る繰り返しだったような気がします。山や海は雪、霧が晴れるまで待てば良いのですが中々それが出来ないように己の人生も過ちを認め戻す事は難しいことです。

でもそれが人生の面白いところでしょうか。

最近妻の目をかすめ家庭料理の店に通っています。無性に母親の料理が恋しくなったのです。この原点回帰が昔のリングワンダリングを思い起こさせたのですが余り関係ありませんね、単に歳を取ったということでしょう。

昨年9月に永年連れ添った愛犬に先立たれ先が見えてきたからです。

今年もよろしく願いいたします。

(支部友会委員長 金谷正起)



## 山行報告 令和6年9月～12月

### <夏山>9月8日(日)9日(月)☆☆

山城：奥秩父 山名：瑞牆山(2,230m)

金峰山(2,599m)

(往路) 金山 6:30→東別院→長坂 IC→瑞牆山登山口駐車場 10:23

(復路) 駐車場 16:40→むかわの湯や須玉 IC=駒ヶ根 SA→名古屋 IC→金山駅 21:30

コースと所要時間

一日目：登山口駐車場 10:23～富士見平小屋・昼食 12:00/12:45～瑞牆山ピストン 14:50/15:15～富士見平小屋 17:00

歩行時間 5時間5分

二日目：小屋・朝食 5:30/6:18～大日小屋 7:35～大日岩 8:47～砂払ノ頭 9:55～金峰山 11:00/11:40 昼食～大日岩 13:46～富士見平小屋 15:35～登山口駐車場 16:17

歩行時間：9時間

参加者(7名) CL 近藤 政仁 SL 磯部 隆

内藤 晴義 谷畑 宏子 黒石 真弓

塚原 恵美子 高橋 弘美



(参加者感想)

・初めての奥秩父の2座を楽しみました。瑞牆山の岩峰、金峰山の五丈岩までの道のりの険しさに驚嘆しながらも苔の森、鹿、リス、アサギマダラに出会え癒される山行でもありました。富士見平小屋も素敵で夏山の良い思い出となりました。

(塚原 恵美子)

・日本百名山を2座登る今回の山行。空に突き出したおおきな岩の間を歩いて、これまた岩のピークの瑞牆山。翌日の最初は苔の森を進んで、これまた岩道の金峰山。ピークからはこれまで歩いたルートと瑞牆山が一望できました。二日間岩の多い道を歩き少し岩に慣れたかな？心配していた天気も少しの雨のみ、バリエーションに富んだルートで楽しく有意義な山行が出来ました。

(高橋弘美)



・巨大な岩がそびえ立ち、遠くから見ても独特のフォルムで、存在感のある金峰山は途中、岩が深く切れ落ちている所があり、スリルを味わいながらの山行でした。ユニークな姿形のキノコ、優雅なアサギマダラ、可愛らしいコガラ、リスなど素敵なお会いも楽しみ、百名山2座を一度に登ることができて大変有意義な山行でした。(黒石真弓)

・奥秩父の方は行ったことがなかったので参加させていただきました。巨岩のそびえる瑞牆山、岩場のアップダウンが続き富士山や南アルプスも見えた金峰山、どちらも見どころが多く、またアタックザックで歩けたので楽でした。富士見平小屋は素敵で、夕食のジビエのソーセージや朝食のピータンのお粥など美味しかったです。アサギマダラやリスやゴジュウカラ、苔やたくさんきのこも見れて楽しく充実した山行でした。(谷畑宏子)



<リーダーコメント>

今回のテーマは「日本百名山2座に登り、富士山を眺める」。一日目の瑞牆山は岩の重なりの間をルート探索しながら歩く。二日目の金峰山はコケやキノコの林間コースを歩き、大日岩から金峰山は垂直の崖横の岩場を歩き大変。富士山やシカ、小鳥の動物、アサギマダラの昆虫や大きなキノコ

も眺めてよかったかな？宿泊は登山口駐車場から約1時間の好立地な富士見平小屋。宿泊者数24名の小さな山小屋だが、ジビエ料理の食事やトイレ、水場やテント場もあり風情のある便利な山小屋でした。

9月28日(土) ☆

山城：三河高原 山名・物見山  
(往路) 東山公園 7:25→ 海上の森駐車場 8:05  
コースの説明(復路) 海上の森駐車場 15:27→東山公園 16:35

コースと所要時間

海上の森駐車場 8:59～四つ沢 9:17～三角点 9:35  
～五叉路 10:13～分岐 11:31～物見山 11:47 昼食  
12:21～三条峠 13:20～ゲート 290m 14:12→里山サ  
テライト 14:43～海上の森駐車場 15:27

歩行時間 4時間 47分

参加者(9名)

CL 金谷 正起 SL 奥野 明美 金武 つや子 増田  
晴美 服部 かおり 杉浦 尚美 岩室 敦子 中  
野 剛男 田中 雅和



(参加者の感想)

・事前にドリルをいただき、現地駐車場にて参加者全員で内容を丁寧に確認しコンパスの使い方も教えていただきました。読図山行とのことで全ての分岐で地図とコンパスでの方向確認、ピーク確認、現在地確認、山座同定などたくさんのことを学びました。後半は登山道を使用せずに道なき道を行き、今ここはどの辺りか尾根や谷を見て判断することも、等高線を見て地図では登れそうな尾根でも実際は険しかった、9メートルは等高線に現れないので、これは地図上のピークなのかどうかなど全員で確認しながら答えを出していくことも楽しかったです。読図のやり方大変勉強になりました。(岩室 敦子)

・雨予報で不安でしたが、なんとか雨も降らず下



山することができました。ただ残暑厳しく大量の汗をかきバテバテでした。しっかり地図読みとコンパスの使い方を勉強でき、各箇所で行進方向を確認しながらの山行で先頭を歩く時はとてもドキドキしながら進み、正解！の時は少し成長した気分でした。二班に別れて進む時は仲間とコンパスを読み色々話し合っただけで最終的にコンパスを信じ進み正解だったときはとてもうれしかったです。初対面の方ばかりだったのが下山する頃にはすっかり仲間になっているのも山の良い所だなあと感じました。(増田 晴美)

・支部友会の山行は初めてでした。初めてご一緒する方との山行で緊張しました。事前学習が出ていましたが、自分一人ではすべてできず、磁北線を引くのが精一杯でした。コンパスの使い方も9月の登山学校の山行で教えてもらっていましたが、すっかり忘れていました。今回、コンパスを何度も出して時間をかけて実践していただけたことで身につけてきて、山行の最後の方はわからない方に教えることができるくらい自信がつかってきました。ただ、読図についてはまだまだで、地図を見て地形を想像することは難しいと感じています。今後も少しずつ学びを深め、初めの目標である自分で計画して登山ができるようにしていきたいと思います。(杉浦 尚美)

・皆さん健脚でいらっしや、ついていくのがやっとな状態で体力不足(減量が先かな?)を痛感しました。読図がメインの山行ということで、最初にコンパスの使い方や読図について教えていただきました。理解したつもりでしたが実際に使ってみると、戸惑うことが多かったです。普段はスマホのGPSアプリを見ながら登ることが多く、下山時間を気にする程度でしたので地図のみの場合では自分の位置に自信が持てないことがほとんどでした。山行計画での行動時間との比較や、地図の等高線から周りの尾根や谷の形状を確認することが大事であると認識しました。また、2班に別れての行動の時はコンパスで正しい方向

を確認して目的地に到着することができ、読図の知識がついたような気がします。要望としては、出発と到着の時刻確認を忘れがちであったため、最初のうちのみ注意喚起があったほうがよかったかと思います。(中野 剛男)

・物見山の地形図をみて山道が書いてないところは、どういう事だろうと思いつつ当日を迎えました。登山口から登山道をコンパスを見ながら目的地に向かってみんなで進む。次第に登山道もない道なき道を進む。私にとって初めての体験でした。道なき道でもコンパスを使って進めば、ちゃんと目的地に着く。という事を体験させていただき、コンパスって凄いと感動しました。コンパスを合わせ、目的地に到着を繰り返すたび、ゲームをクリアしていく感覚で凄く楽しかったです。コンパスを信じて！の金谷さんの言葉通りの体験でした。(服部 かおり)

・当日教えて頂いた事。一晩したら忘れて話題になっていましたが、ほぼ1週間経ちましたがシッカリ身につけています。山登りを始めた頃から約7年間知りたかった事だったので興味を持って聴けたからだだと思います。今後も宜しくお願いします。(田中 雅和)

<リーダーコメント>

山岳遭難の一番は道迷いです。防ぐには事前に地図を読み込み登山中は地図をこまめに開いて現在地を確認することです。特に低山は脇道も多く気を抜くと思わぬ道迷いをしますが有り得ることです。問題は間違いに気がつかずそのまま進むことです。この山域は尾根と谷が入り乱れて解りにくい地形でしたから歩きながら現在地を把握するのは難しかったと思います。参加者の皆さんはコンパスを使いこなしてセンスもあり大きなミスはありませんでした。道無きルートの取り方も適切でした。今後は自身を持って藪漕ぎ覚悟で未知のルート開拓に挑戦して下さい。

.....

10月12日(土) ☆

山域：南アルプス南部 山名：熊伏山 (1,654m)  
(往路) (6:40) 金山 6:40 → 東別院 IC → 浜松いなさ IC9:12 → 青崩峠登山口② (復路) 青崩峠登山口 14:30 → とうえい温泉 15:35/16:40 → 鳳来峡 IC → 浜松いなさ IC → 金山 18:20

コースと所要時間

登山口 9:30 ~ 青崩峠 ~ 青崩の頭 10:51 ~ 前熊伏山 11:26 ~ 熊伏山 11:51 ~ 青崩峠 13:58 ~ 登山口 14:17

参加者 (4名) CL 林 康太郎 五島 健一  
神田 昌彦 芝山 美智子



(参加者の感想)

- ・当日は天気も良く楽しい山行になりました。登山口の塩の道は歴史を感じる趣きがあり、山頂方面への細尾根はスリリングで適切なご指導の下、緊張感をもって臨むことができました。(五島 健一)
- ・秋晴れの下 青崩峠 → 熊伏山に登山してまいりました。実は青崩峠自体は30年以上前にドライブで訪れており、その時も文字通り青緑色のガレが強烈な印象でした。本日 細くて片側が絶壁となっている稜線を辿り、より印象を深くしました。青崩の頭まで来ると打って変わって腐葉土豊かな粘土質の道 これも当時の地質の複雑さがものを言っているのかもしれませんが。(神田 昌彦)
- ・聞いたこともない、行ったこともない山に登れるのは、この会の醍醐味だと思います。山の名前に熊がつくのが気になるころでしたが、熊はもちろんヒルに遭遇することもなく急登のガレ場も無事通過でき、青空のもと名山に拘った楽しい山行でした。(芝山 美智子)

<リーダーコメント>

3連休初日でしたが道中交通量も比較的少なく、山では青崩峠までの観光客2人しか会わない静かな山行を味わえた。青崩峠から青崩の頭までの間に崩壊地点及び急登ザレ場があり、注意喚起のうへ慎重に行動した。爽やかな風が吹き、所々で南アルプス深南部の景色を堪能出来、また「ヒル」が出ることなく無事快適な山行を終えた。

.....

10月19日(土) ☆

山域：三河高原 山名：物見山 (328m)  
(往路) 東山公園 7:30 → 海上の森駐車場 8:00  
(復路) 海上の森駐車場 14:20 → 東山公園 15:00

コースと所要時間

海上の森② 9:15 ~ 三角点 9:47/10:06 ~ 分岐 11:44/11:51 ~ 物見山 12:03 ~ 里山サテライト 12:34 昼食 13:22 ~ 海上の森 14:06

歩行時間 3時間 10分

参加者 (7名)

CL 金谷 正起 SL 奥野 明美 杉浦 いずみ  
鬼頭 巧 伊藤 公子 服部 郁子 後藤 憲治  
(参加者の感想)

・今回の山行では、コンパスを使って、自分たちの進路を決めたり、山座同定を行ったりしました。その際には、メンバーの方々と確認し合う時間をしっかりとっていただいたので、話し合う中でコンパスの使い方に慣れることができました。また、地図を見ながら、最短で険しいルートを選ぶか、遠回りでも楽なルートを選ぶかなどを話し合うことも楽しい経験でした。天候と時間が許せば、コンパスと地図を頼りに、実際にチームに分かれて、目的地まで到達する訓練なども体験してみたいと思いました。(服部 郁子)

・今にも降り出しそうな天候の中、時折晴れ間も覗かせている状況で物見山読図山行に参加させていただきましたが、運良く午前中の物見山山頂までは本格的な雨降りにならずに山行する事ができました。その為、短時間ではありますがほぼ初めてのコンパスの基本的な使用方法をチェックポイントごとに整置しながら行う事ができましたので、山座同定等も含めて有意義な時間を過ごす事ができました。要望と致しましては、今後も定期的に地図読みに特化した山行をできる限り行っていただけると初心者にも理解が深まると感じました。(後藤 憲治)



・読図山行ということで、コンパスの使い方を予習し臨みましたが、実際は途中からコンパスの使い方が分からなくなりました。ただ中腹辺りで道なき道を進んだ事により、コンパスの神が降臨し後半を楽しく読図山行できたと思います。サテライトでの山座同定講習ですが、丁寧に教えて頂き大変助かりました。あと、上級者の方がどのように読図(山行前の準備を含め)をされているのか、話を伺える機会があると嬉しく思いました。(鬼頭 巧)



<リーダーコメント>

今回は天候不良で途中からリターンすることとなり充分地図読みが出来ませんでしたが皆さんはセンス良くある程度理解できたようでした。道迷いを防ぐには現地確認が最も重要であり今後の山行で常に意識して歩いて下さい。その為には一度名も無い低山を単独行又は数名でピークを目指さず地図読みのみの山行をお勧めします。.....

10月20日(日) ☆

山域：越美山地 山名：野坂岳 (913m)

コースと所要時間

金山 6:39→敦賀 IC 8:02→野坂岳登山口 8:25  
～トチノキ地蔵 9:06～ニノ岳 10:19～野坂岳  
10:43～ニノ岳 11:38～トチノキ地蔵 12:30～野  
坂岳登山口 12:58→入浴→金山 16:30

歩行時間：4時間50分

参加者 (3名)

CL 今津 英一朗 稲葉 華子 佐藤 千景



(参加者の感想)

・前日までの雨はあがり、少し肌寒さは感じるものの登山には最適な天候。道は雨の影響で多少滑りやすい箇所が残るものの整備され歩きやすさを感じた。YMCA 所属と思われる児童 3 グループ

の歓声が心地よい。さらに道中でキノコ類や昆虫、植物や鳥のさえずりなど五感を駆使、童心に帰った気分を味わった。頂上からは琵琶湖や敦賀湾を望むこともでき秋の一日を堪能した。名残おしさを感じつつ帰路に着いた。(佐藤 千景)

・気持ちの良い気温で、また登山道もとても整備されており、快適な山行でした。登っていくと敦賀湾が見え、ピークでは琵琶湖も見えて感激しました。道中は子供たちの元気な声に和まされました。途中にむかごも成っていて、初めて成っている状態を見たので興味深かったです。野坂岳は敦賀三山の一つということで、あと二つの山も登ってみたいと思いました。(稲葉 華子)

<リーダーコメント>

天気にもぐまれ、気持ちよく登山ができました。谷道の遡上からはじまり、尾根歩きへ変るルートです。途中の谷道は濡れると滑る危険がありました。また、今回は発生していなかったようですが、ハチの季節でもありました。楽しい登山の裏には色々な危険が潜んでいます。これからも、万全の準備で楽しく登山をしましょう。

.....

### 11月17日(日)☆☆

山城：奥三河 山名：岩古谷山(822m)

(往路) 金山 6:30→新城 IC→和市駐車場 8:30

(復路) 和市駐車場 15:30→鳳来ゆーゆーアリーナ→新城 IC→金山駅 19:30

コースと所要時間

岩古谷山駐車場 8:30～堤石峠 9:30～平山明神分岐

10:42～堤石峠 12:04～岩古谷山 12:31/14:00～

堤石トンネル 15:01～駐車場 15:30

歩行時間 5時間 55分

参加者(4名) CL 近藤 政仁 CL 山田 誠一

稲葉 華子 竹本 美香



(参加者の感想)

・が、コースは、大きな岩場を登ったり、ロープだけでなく、鎖場や鉄梯子があったりと、飽きがない歩行距離こそ短かった約 5.2 km 山行でした。とてもアクロバティックな登山コースで、今

まで経験した事が無かったので、補助ロープやスリングを携行することの重要性を痛感した。楽しく充実した一日を過ごさせて頂くことができました。

(山田 誠一)

・雨も覚悟の山行でしたが晴天でした。テーマである三点支持や、ロープの箇所では手足の掛け場を参考、指導いただき、また皆でどの位置が最適か考えながら登りました。鎖が少々長く連続で3本あった所は緊張しましたが慎重に降りれました。紅葉も素晴らしい眺めも堪能しました。

(稲葉 華子)

・岩古谷山は「えーここ登るの！！降りるの！！」が何度もありました。ロープでは足場を探す事に夢中になっていると、体が大きく振られて倒れそうになった。何処に足をかけたら良いか、とほうにくれたり、助けてもらう場面もありました。おかげで、往路はあんなに怖かった岩場が復路はすんなり降りる事ができ、ちょっとした成長感も味わう事ができました。

(竹本 美香)

<リーダーコメント>

今回は三点支持トレーニングを堤石峠～平山明神山分岐で練習、岩古谷山～堤石トンネル入口で復習していただきました。

最初は足を置く位置や手を掛ける位置に戸惑われていましたが、安定してきました。次は朝明ミーティングなどで「簡易ハーネスを使ったロープワーク」等を習得できれば、槍ヶ岳や剣岳(別山尾根)の大渋滞も安全確保しながら登れます。頑張ってください。

.....

### 11月23日(土)☆☆

山城：西濃 山名：西台山(949m)・

タンポ(1,066m)

(往路) 金山 6:45→休憩(道の駅夢さんさん谷汲)→駐車地 8:12

(復路) 駐車地 16:00→入浴「根尾川谷汲温泉」16:36/17:30→金山 19:00

コースと所要時間

駐車地 8:29～尾根入口 8:55～のりこし峠分岐

10:19～西台山 10:56/11:15～タンポ 12:16 昼食

12:43～西台山 13:34～のりこし峠 14:44～駐車地

15:53 所用時間 7時間 24分



参加者 (3名)

CL 林 康太郎 芝山美智子 高橋弘美 五島健一



(参加者の感想)

・事前にリーダーより、過去に道迷い遭難が発生した山なので、その原因や遭難防止対策などを検証する。そしてメンバー3人で交代で先頭を歩くと聞いていたので、私なりに十分な予習をして挑んだけれど、机上と実際では全く違いやはり何度もルートロスをしてしまった。その都度メンバーの皆さんに助けていただき、二つのピークを踏み、無事下山できました。明らかなルートを歩く山行もいいけど、今回のような難しい山行は終わってみると、充実感満載で大満足でした。

(芝山 美智子)

・今回は過去の遭難検証もかねており、予め各自でのルート確認の上での山行。だったが、予定の登山口途中で通行止めのため、想定ルート変更。林リーダーの指導と各自のルーフアイ確認をしながら初雪を楽しみつつ、より一層面白い山行となった。

(五島 健一)

・登山口に続く林道が通行止めの為、尾根道を登りのりこし峠からの尾根分岐にとりつき西台山を目指しました。道迷い遭難発生の実地検証は、広いピークで尾根も沢山派生していてコンパスですぐ先の進行方向の確認が必須だと思いました。道も急登箇所が多く苦戦しました。しかし雪もちらつく中、紅葉はすばらしく落ち葉でふかふかの道も楽しく歩くことができました。色々な要素が詰まった充実した楽しい山行ができました。

(高橋 弘美)

<リーダーコメント>

自身3度目の西台山 (1回目遭難者捜索、2回目個人実地検証、3回目今回) 過去2回と違い、のりこし峠までの林道が約4キロ手前で通行止めとなっており、登りは530m付近から発生する尾根道を辿るコースを選択しました。

633m 三角点手前で不明瞭な急登区間がありま

すが、ひたすら尾根筋を外れないよう皆さん慎重に行動されてました。のりこし峠からの道と接続するまでは一部紅葉も見られ、接続点手前の急登を除き快適なルート。接続点から先、2度鞍部に下りいよいよ西台山 山頂直下100mは不明瞭な岩場混じりのかなりの急登、登り切り台地に開けたところが西台山頂上。周辺はかなり開けた台地上の尾根、更に道も不明瞭で疲れたころうっかり道迷いしそうな地形です。

遠くにタンポが眺められるが、かなり遠くに見えたのでメンバーには伝えず。タンポ分岐の直前までダラダラ下り、少し登った凸部が分岐、ここからは小さなピークも含め5~6回登り下りを繰り返しようやくタンポに到着!この間に1箇所まあまあな急登があります。このあたりで雪がチラチラと初雪です。帰りは基本引き返し、乗り越し峠に下山、崩壊林道を下るルートを取りました。(林道崩壊箇所、事前情報で徒歩での通行はできること確認済み) 急登箇所の下りは慎重に、登りの際迷いやすそうなところはより慎重にルーフアイを頑張りましたが、最後にのりこし峠接続点からの先でルートを誤りました。

正規ルートに引き返し、以降無事のりこし峠まで下山完了です。のりこし峠からの林道は工事箇所だけではない崩落部分が多数、しばらく開通は難しいでしょう。累積標高差1,000m以上、行動時間約7時間30分、歩行距離14キロ 星の数が甘すぎました。皆さんお疲れさまでした!



11月30(土) ☆

山域: 鈴鹿南部 山名: 入道ヶ岳 (946m)

(往路) 金山 6:35→名高速・東名阪道→鈴鹿IC→小岐須溪谷 7:50

(復路) 小岐須溪谷 16:00→温泉入浴→四日市IC→東名阪道・名高速→金山 18:55

## コースと所要時間

小岐須キャンプ場 8:15～池ヶ谷コース分岐 9:00  
～二本松避難小屋 10:18～入道ヶ岳 11:50/12:20  
～二本松避難小屋 13:20～短山国見岳 13:25～  
キャンプ場 15:40 歩行時間 7時間 20分  
参加者 (4名)

CL 榊 将美 中野 徳子 加藤 恵美 佐橋 章嘉



### (参加者の感想)

・まるでミステリーツアー!前日の夜 11 時過ぎに山の準備を終えて PC を開けたところ、リーダーから連絡が入っていました。林道が全面通行止めのため、入道ヶ岳に行先変更とのこと。慌てて地図と計画書を印刷しましたが予習は全くできず、一度行ったことがある入道ヶ岳だから大丈夫かなと思いながら参加しました。結論から言うと、良い意味で期待を裏切られるワクワクが止まらない、とっても楽しい山行でした!滝ヶ谷ルートは渡渉やロープ、時には鎖場もあり、二本松尾根ルートまで誰にも会わない静かな道。入道ヶ岳の山頂は強風が吹き荒び記念写真も帽子を押さえながら。一転して奥宮までの道は風もなく苔の庭園のよう。帰りの滝ヶ谷尾根ルートはこれまた誰にも会わない、苔むした馬の背あり、崖下りありのバリエーションルートで、途中ロープトレーニングにもチャレンジ、RF と激下りを楽しみました。地図読み・地形読みには最適な季節だったこともあり、人の多い一般道では物足りなさを感じ、すっかりバリ山行の虜になりそうです。

(中野 徳子)

・直前の道路通行止めにより宮指路岳から入道ヶ岳に急遽変更となった山行でした。入道ヶ岳でもあまり使わないコースで滝ヶ谷コースでしたが沢沿いのコースは岩場、ロープや鎖もあり、渡渉も多くバリエーションに富んで楽しいコースでした。風通しの良い山頂付近は冬の北風が強く、奥の院まで行きすぐに退散しました。下りは、尾根中心で途中から登山マップにない道をコンパ

スと GPS を使いながらみんなで協力して降りました。途中練習もかねてロープと簡易ハーネスで 7メートルの急登をリーダー指導のもとみんなで協力して降りられたのは楽しくステップアップできた気がします。

(佐橋 章嘉)

・登りの滝ヶ谷コースは、渡渉、鎖場、ロープ、岩場など、変化に富んだコースだったので、緊張しましたが、とても楽しく進めました。植生の変化など周りの景色も楽しめました。下山は、RF をしながらだったのでコンパスを使い地形や標高を確認しながら皆で相談して進みました。途中のロープワークでは、忘れていた事ばかりで迷惑をかけてしまいました、リーダーや皆さまに教えていただき降りることができました。

頂上は、ずっと強い風が吹いていて飛ばされそうになりましたが、良い景色を楽しめました。RF、ロープワークなど勉強になりました。

(加藤 恵美)



### <リーダーコメント>

今回は入道ヶ岳を小岐須溪谷から登りました。突然の計画変更皆さん戸惑われたと思います。この山域は下見の段階から荒れており一抹の不安がありました。が、皆さん慎重にかつ果敢に挑戦して頂き無事下山できたことに感謝します。登りの「滝ヶ谷コース」は渡渉あり、ロープ場あり、クサリ場ありとまるでアミューズメントパークの様相を呈しており楽しめました。トップリードの読図を参加者全員が確認をし、注意ポイントでは後続を待つという「チーム山行の基本」ができていました。実に素晴らしいチームでした。下りでは簡易ハーネスを使った下降も現場体験し、登山の幅を広げ、楽しみを増加させたと思います。

これからも知識・技術そして多くの体験をしてワンランクアップの登山に挑戦をしてください。

.....

## 令和7年4月～6月の山行計画!

＜メールで携帯からはSMSで山行リーダーにお申込み下さい。＞

・申し込み開始は 山行日の3か月前から、  
優先は1ヶ月その後支部員も申し込み可、  
月に原則2山行までとします。

・山行日・山名・会員番号・氏名・住所・  
電話(携帯電話)・生年月日・血液型・  
加入保険名・緊急連絡先(その関係)

☆山行グレード

☆ 1日の累計標高差(登り) 600m以内、  
歩行時間4時間程度の山

☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m以内、  
歩行時間6時間程度の山

☆☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m超過、  
歩行時間6時間超過の山

### リーダー連絡先

尾上 昇	onoe@onoe.co.jp 090-1741-4926
金谷 正起	kanaya.masaki@rouge.plala.or.jp 090-9931-3600
榊 将美	m.sakaki@minds-consulting.jp 090-7237-4410
松本 陽子	yo-kom@nifty.com 090-7859-4031
田中 進	t-susumu@peace.ocn.ne.jp 090-9191-8666
磯部 隆	takass@yk.commufa.jp 090-9180-7245
高松 信治	takama2nobu3@yk.commufa.jp 090-3156-5268
今津 英一朗	imazu.eitirou@maroon.plala.or.jp 090-2616-7549
村瀬 恭平	hoshizakari@docomo.ne.jp 090-4186-9876
近藤 政仁	vft55ud55@gmail.com 090-2183-8125
倉橋 智司	ilyt6by8@qc.commufa.jp 090-8673-7180
奥野 明美	tac-okuno@mbi.nifty.com 090-9923-4292
池戸 美恵	noboruonna@icloud.com 090-1294-0415
川崎 禎明	y.kawa715@gmail.com 090-2131-7695
林 康太郎	koutaropippi@gmail.com 090-2949-0544

4月5・6日(土・日)☆☆ 募集開始1月5日  
山域:鈴鹿 山名:国見岳(1170m)青岳(1102m)  
ルート:蒼滝公共駐車場～湯の山温泉駅～中道登山口～藤内小屋(泊り)2日目藤内小屋～国見岳～根の平峠～ブナ清水～裏道登山口  
歩行時間 2日共 約6時間

集合:日本特殊陶業市民会館南側

時間:午前7:00 交通:マイカー 雨天中止  
リーダー:村瀬 恭平 募集3名 参加費:12,000円  
ポイント:中道から国見岳まで登り、根の平峠経由でブナ清水、腰越峠から藤内小屋へと戻ります。

4月6日(日)☆☆ 募集開始1月6日

山域:鈴鹿山脈 山名:竜ヶ岳(1,099m)  
ルート:宇賀溪～金山尾根～遠足尾根分岐～竜ヶ岳(往復) 歩行時間 6時間10分

集合:日本特殊陶業市民会館南側

時間:午前7:00 交通:マイカー

参加費:3,000円 募集3名

リーダー:今津 英一朗 雨天中止

ポイント:金山尾根を上り、遠足尾根下ります。

4月12・13日(土・日)☆☆ 募集開始1月12日

山域:中国山地 山名:蒜山三山  
ルート:犬狭峠～下蒜山～中蒜山～上蒜山～上蒜山登山口 歩行時間 約6時間

集合:日本特殊陶業市民会館南側

時間:午前6:30 交通:マイカー

参加費:約30,000円 募集4名

リーダー:林 康太郎 雨天中止

ポイント:新緑の蒜山高原で癒される(湯原温泉前泊)

4月13日(日)☆☆ 募集開始1月13日

山域:奥三河 山名:三ツ瀬明神山(1,016m)  
ルート:尾籠集落～尾籠岩山～北尾根場～三ツ瀬明神山(往復) 歩行時間 6時間

集合:日本特殊陶業市民会館南側

時間:午前6:30 交通:マイカー

参加費:4,000円 募集3名

リーダー:近藤 政仁 雨天中止

ポイント:北尾根の急登を登り南アルプスを遠望

4月19日(土)☆ 募集開始1月19日

山域:京都トレール 山名:大岩山(182m)  
稲荷山(233m)阿弥陀ヶ峰(196m)清水山(242m)  
ルート:伏見稲荷駅～阿弥陀ヶ峠～東山山頂公園～蹴上～銀閣寺道・浄土寺橋～タイムズ京阪出町柳

駅東 歩行時間 5時間

集合:小牧市役所駐車場 交通:マイカー

時間:午前5:00 参加費:3,000円

リーダー：村瀬 恭平 募集 3名 雨天中止  
ポイント：伏見稲荷大社から泉涌寺の前を通り、景色がキレイな将軍塚、見どころの多いコース

5月5日(土) ☆ 募集開始 2月5日  
山城：渥美半島 山名：大山(328m)雨乞山(233m)  
ルート：石神登山口～雨乞山物見山～狼煙山～大山～登山口 歩行時間：約5時間30分  
集合：JR 金山駅午前7:00 又は豊橋駅8:10  
参加費：約3,000円

リーダー：田中 進 募集 8名 雨天中止  
ポイント：三河湾の眺望、渥美半島縦断。

5月10日(土) ☆ 募集開始 2月10日  
山城：京都北山 山名：愛宕山(924m)地蔵山  
ルート：越畑登山口～地蔵山三角点～愛宕神社～荒神峠～保津峡登山口 歩行時間：5時間  
集合：JR 名古屋駅新幹線コンコース前  
時間：午前6:30 参加費：11,000円

リーダー：村瀬 恭平 募集 3名 雨天中止  
ポイント：京都の町を見下ろす絶景、比叡山と並ぶ信仰の山と府内1等三角点最高峰を巡る

5月17日(土) ☆ 募集開始 2月17日  
山城：伊那山地 山名：戸倉山(1,681m)  
ルート：戸倉山キャンプ場コース登山口～馬止の松～上の森コース分岐～戸倉山(往復)  
所要時間：6時間35分  
集合：ジャパンレンタカー名古屋駅前北店  
時間：午前6:30 参加費：約5,500円

リーダー：川崎禎明 募集 5名 雨天中止  
ポイント：伊那富士と呼ばれる名山

5月18日(日) ☆☆ 募集開始 2月18日  
山城：伊船 山名：仙ヶ岳(961m)  
ルート：亀山～仙ガ岳登山口～営林署小屋～不動分岐～仙ヶ岳(往復) 歩行時間7時間弱  
集合：JR 名古屋駅中央改札口前  
時間：午前6:55 参加費：約3,500円

リーダー：磯部 隆 募集 3名 雨天中止  
ポイント：鈴鹿南部の秀峰。やせ尾根、アップダウンが続き、大変だが、途中、展望が楽しめる。

5月25日(日) ☆ 募集開始 2月25日  
山城：滋賀 山名：横山岳(1,132m)  
ルート：白谷出合駐車場～五条の滝～横山岳西峰～東峰～林道～白谷出合駐車場 歩行時間6時間  
集合：日本特殊陶業市民会館南側道路  
時間：午前6:30  
マイカー 参加費：4000円

リーダー：近藤 政仁 募集 3名 雨天中止  
ポイント：谷筋の急登を登り、横山岳の双耳峰を歩き遠望。

6月7・8日(土・日) ☆☆ 募集開始 3月7日  
山城：北八ヶ岳 山名：にゅう(2,352m)北横岳(2,480m)

ルート：麦草ヒュッテ～高見石小屋～ニュー～白駒荘～麦草ヒュッテ(泊り) 2日目麦草ヒュッテ～縞枯山荘～北横岳～麦草ヒュッテ

集合：小牧市役所駐車場 参加費：18,000円  
時間：午前5:00 交通手段：マイカー

リーダー：村瀬 恭平 募集 3名 雨天中止  
ポイント：北八ヶ岳の森と大展望を満喫!

6月7日(土) ☆☆ 募集開始 3月7日  
山城：中央アルプス 山名：烏帽子岳(2,195m)  
ルート：鳩打峠～小八郎岳～烏帽子岳(往復)  
集合：ジャパンレンタカー名古屋駅前北店  
時間：午前6:30 参加費：約4,000円  
交通：レンタカー 募集 5名 雨天中止

リーダー：川崎禎明  
ポイント：中央アルプスからの展望を楽しむ

6月14日(土) ☆ 募集開始 3月14日  
山城：岐阜北部 山名：金華山(329m)  
ルート：粕森神社～岩戸公園～達目洞～大釜登山道～金華山～馬の背～下山 歩行時間 約5時間  
集合：JR 岐阜駅前循環バス乗り場  
時間：午前8:00 交通手段：JR 及びバス  
参加費：約2,000円

リーダー：磯部 隆 募集 5名 雨天中止  
ポイント：ややマイナーなコースを、4時間程、自由に散策し、岩場の馬の背コースを下山。

(夏山) 6月28・29日(土・日) ☆☆  
募集開始 4月8日(2025夏山への誘い)

山城：中央アルプス 山名：恵那山(2,191m)  
1日目：中津川・苗木城～山小屋萬岳荘泊り  
2日目：小屋～神坂峠～恵那山(往復)～萬岳荘  
歩行時間：1日目2時間 2日目5時間30分  
集合：日本特殊陶業市民会館南側道路  
時間：午前8:00 交通：マイカー2台  
参加費：12,000円 募集 8名

リーダー：田中 進 雨天決行  
ポイント：山小屋泊、自炊夜は満点の星観察、翌日は百名山往復。

「報告」第66回支部友会・朝明ミーティング  
10月26日(土)27日(日)

朝明ミーティングは10年以上前からの年中行事です。登山学校に所属する支部友会員14名は6名の指導員と3チームに分かれ、学校に所属しない14名の会員は委員4名と3チームに分かれ鈴鹿の山を分散登山。又、支部友委員10名の合計45名が参加しました。

**26日(土) 分散登山** 第1パーティ(4名)  
ブナ清水・ハライド(標高908m)

CL 近藤 政仁 神田 昌彦 稲葉 華子 中山 静雄



コースと所要時間

朝明溪谷駐車場 8:30～伊勢谷小屋分岐 8:40～ブナ清水分岐 10:00～ブナ清水 10:45～腰越峠 12:40～ハライド 13:10/13:30～朝明溪谷駐車場 14:45

(参加者の感想)

秋色深まる中、ブナ清水への山行。当日は蒸し暑さも感じる中ではあったが、根の平峠、ブナ清水近くでは葉が色づき始め遅れてではあるが季節が進んでいることを感じました。また、当地に限らず各地の山でシカなどの食害が見受けられるなか、ブナの美しい森を後世に残す植林活動も見られ自然の中で楽しませてもらっている私にも感じるものがありました。登山道は、なだらかで広々しているところほど踏み跡がはっきりせず迷いやすいことを改めて認識し、集団での確認が必要であると感じました。(神田昌彦)

<リーダーコメント>

今回は「ブナ清水・ハライド(左回り)」で、道

迷い体験と体力消耗の少ない登山を体験していただきました。ブナ清水からの道迷い多発箇所は地図や踏み跡を確認しながら登り、下りは急下降を降りました。また、お風呂へ入れない予想もあり、急いで下山しましたが、皆さん最後まで脚力が落ちず、ケガもなく、無事下山できました。

第2・3パーティ(3名) 釈迦が岳(1,092m)  
CL 林 康太郎 佐橋 章嘉 花田 玲子

コースと所要時間

朝明溪谷駐車場 8:10～庵座谷ルート登山口～中尾根取付点 8:40～鳴滝のコバ 9:20～松尾尾根合流点～庵座谷ルート分岐 9:45～釈迦ヶ岳 10:40～猫岳 11:15～白滝谷分岐 12:13～羽鳥峰 12:20～千種街道分岐 13:13～登山口 13:25

(参加者の感想)

・釈迦が岳は2回目ですが、今回は、初めての中尾根コースでガレ場ややせ尾根、ロープ箇所もあり、バリエーションに富んだコースでした。途中途中で釈迦の近くの山もリーダーに教えていただき、猫岳含め御在所付近の山の位置の理解が深まりました。紅葉は、ところどころ始まったところで綺麗でしたが、今年の色のは出来はいまひとつの感じでした。3名のペースも程よいスピードで余裕で間に合い、温泉もゆっくりと入ることができよかったです。(佐橋 章嘉)

中尾根取り付きでは、早速、方向を間違えそうになりましたが、地図から尾根、沢を意識しながら歩かせていただき、現在地の確認も時々させていただきました。庵座谷分岐から松尾尾根合流までの急登、沢への合流の地図に無い道と変化に富んだ道で地図を見ながら歩く事が楽しかったです。猫岳が見える道上で地図を整地して、現在地を把握する方法をリーダーより教わり試してみました。急登あり、キレている所ありで歩きも変化に富んで楽しかったです。釈迦から猫へ向かう道は気持ちの良い稜線で道もわかりやすく、今自分達が通ってきた道を振り返りながら歩くことができました。谷～堰堤も谷歩きをすることができました。(花田 玲子)

<リーダーコメント>

釈迦ヶ岳中尾根は未経験だったので1週間前に下見 庵座谷分岐から先がガレ・急登、頂上からの下りも道の状態が悪く多人数なら難儀したかと思えます。今回のメンバーは少数精鋭で、楽しい登山が出来、風もほとんど無く、景色も360度眺められ、少し色づいた紅葉も楽しめ快適な山行でした。

.....

第4パーティ (6名) 水晶岳 (954m)

①ブナ清水ルート

CL 榊 将美、佐藤 千景、浦野恵美子

コースと所要時間

朝明茶屋 8:30~旧千種街道登山口 8:45~根の平峠 10:45~ブナ清水手前 12:15~根の平峠・昼食~12:15/13:30~朝明茶屋 14:00

②水晶岳ルート CL 川崎 禎明、山田 卓、田中雅和 朝明茶屋 8:45~中峠分岐 9:04~10:08 中峠 10:08~水晶岳 10:44/11:11~11:31 根の平峠 11:31~分岐 12:31~朝明茶屋 12:46



(参加者の感想)

・樹々の板根・ブナの保水力、愛知川の堰堤の建造様式の説明、要所々でルートファインディング、渡渉の繰り返しと盛りだくさんの山行に、膝も悲鳴を上げず、一歩前進を感じました。

(浦野恵美子)

・曇りの天気だったので涼しく歩けました。最後まで降られずに良かったです。途中、ルートファインディングしながら、進むコースを話し合っ

て進みました。川に沿ったコースを歩く時間が多く、石ゴロゴロの場所だったので、足の置き方などを指導され安全に歩くことが出来ました。地図を見ながら先を読むことを教わったので、これからの山行に生かしたいと思えます。テント泊装備の人と何人もすれ違いました。やはり人気の山域なんだなと思えました。

(山田 卓)

<リーダーコメント>

少人数のグループになったので、足並みも揃い順調なすべりだしで歩くことができました。途中、ガレ急登、ザレ下りもありましたが、坦々とリズムあるペースでいくことができたので、早め早めに休憩もとることができました。さすが鈴鹿、10月の終わりにもかかわらずヒルに遭遇し危うく噛まれるところでした。

(川崎 禎明)

ブナ清水山行を担当しましたが、少人数山行を活かし「読図と先読み」「ルート・ファインディング」「歩行の仕方」「植生」「トップリードの取り方」「キノコの鑑賞」等々、盛りだくさんの楽しい山行でした。

(榊 将美)

.....

16:45 ~夕食 (BBQ)

食材と物品は田中車 (川崎 (明)、磯部) 金谷車 (奥野) の2台食事班5人によって購入、運ばれて来ました。分散登山の皆さんは入浴後16時から45名が6班に別れBBQ会場に集合。各班から野菜カットと食材盛り付けを手伝いしてもらい、炭火起こしも順調では開始を待っていました。

<前菜>サラダバーと枝豆、ちくわのつまみ <BBQ>豚ネギ串、鶏モモ串、ソーセージ 牛肉 エビ イカ 野菜 <キーマカレー>も大好評な料理。<飲み物>缶ビール 500 mm 72本 差入のワイン、ウイスキー、日本酒多し。



16 : 45 前田支部副委員長の乾杯の音頭で開始。



19 : 30～キャンプファイヤー

今年も新人会の皆さんが鈴鹿の山から下りて来た「火の神」から聖火を受け継ぎ焚木に点火して始まりました。



バイオリン磯部、ギター田中の演奏、司会川崎明子で山の歌を班ごとに合唱してもらい、一番上手なチームに賞品を獲得してもらうつもりでしたが残念ながら優劣無し。

楽しいアトラクションのジャンケンゲームで勝った人は景品プレゼントを受け取りこちらは大いに盛り上がり 21時に終了しました。





**27日(日)** 7:00～朝食 Aロッジ食堂

8:00～9:30 座学

『ヒマラヤ登山今昔・何故人は山に登るのかー』

講師:尾上 昇氏 (東海支部常任評議員)



内容: ヒマラヤ登山の変遷

勃興期～1950 頃・・・冒険、探検、探求の時代を経てアルピニストがヒマラヤに挑戦。

隆盛期～2000 年頃・・・次々と未踏峰が登られ 8000m 峰 14 座が初登頂されバリエーション時代が到来。1970 年東海支部がマカルー峰 (8463m) 南東稜初登頂に尾上氏 26 才が参加している。500 名に近い大キャラバン

転換期～現代・・・大登山隊が終焉しアルパインスタイルが主流時代となる。

最後に 2024 年に平出、中島の二人がアルパインスタイルで K2 西壁に初挑戦し遭難するという悲劇の話がされました。朝食後皆さん映像と講演を熱心に眠ることなく聞き入った 1 時間半でした。

10:00～11:00 消防講座 (ファーストエイド講習)

講師:菟野消防署署員

場所: 自炊場 B

登山中での骨折・怪我・虫刺されなどに対する対処方・応急処置等実践を通して体験・見学して頂いた。



12:00～14:50 演習 ①「一般登山道で役立つロープワーク」

講師: 榎 将美氏

助手: 林 康太郎氏

川崎禎明氏・倉橋 智司氏

参加者 (6名)

演習 ②「ツエルトの張り方」 第1広場

講師: 高松 信治氏

助手: 支部友委員数名

参加者

(5名)



・登山学校

Aクラス

実技講座

(セルフレスキュー講座) 講師: 小古 真也氏

15:00 解散式

金谷正起支部友委員会委員長より解散の挨拶。



第 67 回 12 月 10 日 (火) 19:00~20:30

## 「支部友会忘年会・新入会員歓迎会」

レストランリビエール (セントヒサヤビル 11F)

参加者: 43 名 (支部友会員 24 名 支部員 19 名)

司会: 川崎明子 受付: 中島 池戸 奥野

高橋支部長 (兼支部友会会長) の開会挨拶に続き、今津副支部長の乾杯で始まった忘年会は、2024 年の新入会員の歓迎会も兼ね、支部友会員や登山学校の指導員ともテーブルを囲み山の思い出、新しい年の抱負を語り親睦を深め合いました。事前に乾杯のビールは用意しますが持ち込み歓迎をお知らせしましたので、ワイン、日本酒、ウイスキー他沢山のアルコールが残る程でした。



司会は川崎明子さんにお越し、新入会の支部友会員 16 名を紹介、来年の抱負を語って頂きました。

ギター田中・バイオリン磯部の伴奏でテーブルごとに別れた皆さんで山の歌を歌いました。

最後にクリスマスソングの合唱で宴会は大いに盛り上がり、美味しい料理と沢山の差し入れアルコールで皆さん大満足でした。





最後に金谷委員長の締めの挨拶で閉会、皆さん  
来年の安全で楽しい山行を誓い合いました。

### 支部友会員の皆様にお知らせ

保険のジロー・ココヘリは山岳保険ではありません。他の保険に入会下さい。  
例 モンベル山行保険、日山協山岳保険、  
YAMAP アウトドア保険、レスキュー費用保  
険、他の保険も沢山あります。



### 支部友ミーティング

「予定」第 68 回 4 月 8 日 (火)

テーマ：「2025 夏山への誘い」支部ルーム

講師：各山行リーダーが夏山コースを  
説明し、参加者は先行申し込み受付しま  
す。

2025 年夏山は 10 月号 10 頁に発表されてい  
る 10 コースを参照下さい。

**\*支部友会員数\*** 11 月末現在 **69** 名

<新入会者 10 月～ 2 名>

52093 細田 一也 52094 駒屋 則夫

52018 田中 智子

### \*編集後記\*

2024 年の夏山 6 コースの内 3 山行が中  
止となりました。異常な台風の襲来、そし  
て各地で大雨による被害が多くこれも温暖  
化の影響でしょう。

2025 年の夏山は 10 名の山行リーダーが  
バラエティーに富んだ山々を計画し皆さん  
の参加をお待ちしています。

支部友会事務所連絡先 〒460-0014

名古屋市中区富士見町8-8 OMCビル

B-1 東海支部内

[http://jactokai.sakura.ne.jp/shibuhp  
/index.php](http://jactokai.sakura.ne.jp/shibuhp/index.php)

編集責任者 (田中進 090-9191-8666)